

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|-----------------|------------------|------------------|------------------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 1,187,821 | 流動負債 | 1,497,565 |
| 現金預金 | 6,291 | 買掛金 | 527,245 |
| 売掛金 | 396,550 | 短期借入金 | 640,000 |
| 商品及び製品 | 89,810 | 関係会社短期借入金 | - |
| 仕掛品 | 145,049 | 未払法人税等 | 17,049 |
| 原材料及び貯蔵品 | 47,215 | 賞与引当金 | 74,431 |
| 繰延税金資産 | 40,053 | 役員賞与引当金 | 1,000 |
| 関係会社預け金 | 424,766 | その他流動負債 | 237,839 |
| その他流動資産 | 38,084 | 固定負債 | 575,988 |
| 固定資産 | 1,150,946 | 長期借入金 | - |
| 有形固定資産 | 614,940 | 退職給付引当金 | 109,390 |
| 建物 | 161,647 | その他固定負債 | 466,597 |
| 構築物 | 10,116 | 負債合計 | 2,073,554 |
| 機械装置 | 265,533 | | |
| 車両運搬具 | 1,564 | (純資産の部) | |
| 工具器具備品 | 32,839 | 株主資本 | 265,213 |
| 土地 | 142,614 | 資本金 | 276,000 |
| 建設仮勘定 | 624 | 利益剰余金 | △10,786 |
| 無形固定資産 | 29,158 | 利益準備金 | 18,506 |
| 電話加入権 | 5,923 | その他利益剰余金 | △29,292 |
| ソフトウェア | 23,234 | 別途積立金 | 300,000 |
| 投資その他の資産 | 506,847 | 繰越利益剰余金 | △329,292 |
| 投資有価証券 | 7,794 | 評価・換算差額等 | - |
| 繰延税金資産 | 495,965 | その他有価証券評価差額金 | - |
| 前払年金費用 | - | 純資産合計 | 265,213 |
| その他投資 | 3,087 | | |
| 資産合計 | 2,338,767 | 負債及び純資産合計 | 2,338,767 |

注 記

1. 資産の評価基準及び評価方法

①有価証券

その他有価証券・・・時価のあるもの
該当なし
時価のないもの
移動平均法による原価法

②デリバティブ・・・時価法

該当なし

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

・移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

3. 固定資産の減価償却方法

・有形固定資産(リース資産を除く)

定額法によっております。

・無形固定資産(リース資産を除く)

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

4. 引当金の計上基準

・賞与引当金

従業員への賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

・退職給付引当金

従業員については、退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産に基づき、当期末において発生している額を計上しております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌営業年度から費用処理することとしております。

5. 有形固定資産の減価償却累計額 2,025,220 千円

7. 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。